

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 手足口病

定点当たり3.38人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染で、回復後も2～4週間程度、便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

2 ヘルパンギーナ

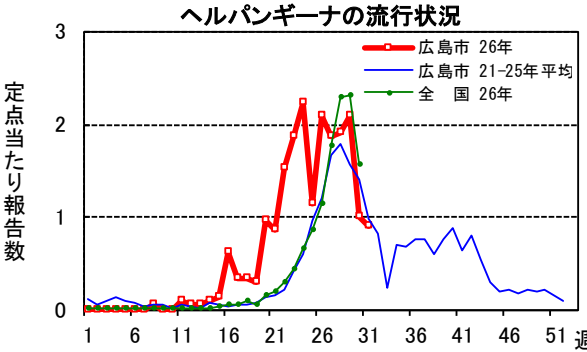
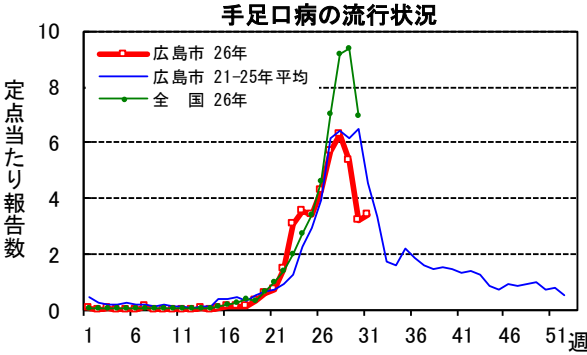
定点当たり0.90人と、減少傾向ですが、多い状況です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.47人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、注意が必要です。(次ページ参照)

4 レジオネラ症

今年の累計は16件となりました。レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)の吸入などによって感染する細菌感染症で、夏から秋に多い傾向です。循環式浴槽、加湿器、冷却塔などによる感染事例の報告があり、これらの維持管理を適切に行うことが大切です。



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1638	48.18		→	小児科	突発性発しん	5	0.24	0.26	
	インフルエンザ	8	0.24	0.12			ヘルパンギーナ	19	0.90	0.99	↗
	新型コロナ(COVID-19)	16	0.47		↓		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.29	3.22		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	6	0.29	0.32			流行性角結膜炎	2	0.25	0.38	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.67	1.43	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	78	3.71	2.69	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	4	0.19	0.16			マイコプラズマ肺炎	-	-	1.06	
	手足口病	71	3.38	4.53	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.82			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	81	30歳代
4	レジオネラ症	1	16	90歳代
5	急性脳炎	1	6	10歳未満
5	梅毒	4	72	20歳代・2人、50歳代・2人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

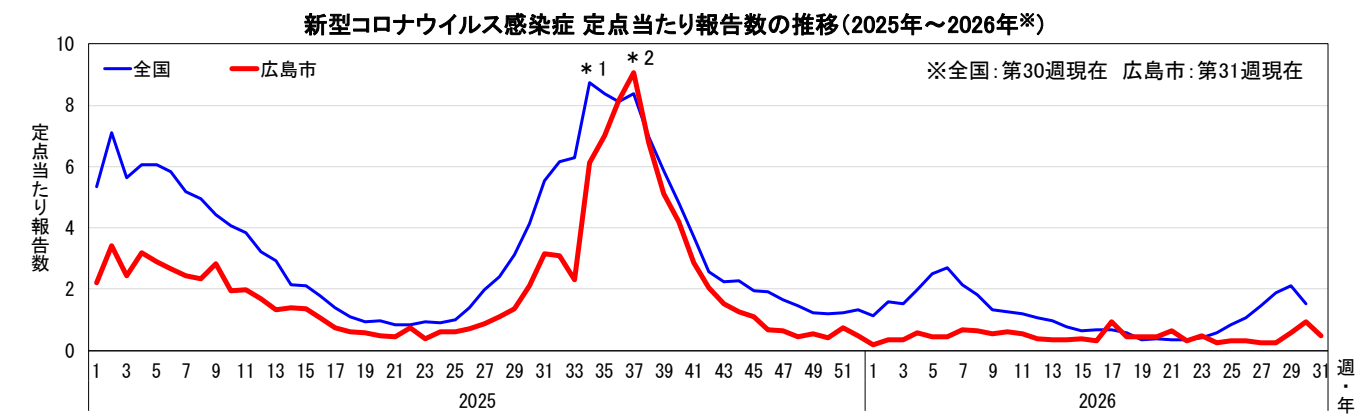
			急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第27週	1,897	7	9	5	6	49	124	5	120	1	4	39	-	-	5	-	-	1	-	-	-
		第28週	1,864	2	8	6	11	46	114	13	132	-	1	40	1	-	8	-	-	5	-	-	-
		第29週	1,986	1	19	7	8	46	87	3	113	-	4	44	1	-	2	-	-	8	-	-	-
		第30週	1,534	3	32	12	9	27	62	6	67	-	7	21	-	-	2	-	-	6	-	1	-
		第31週	1,638	8	16	6	6	35	78	4	71	-	5	19	1	-	2	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第27週	55.79	0.21	0.26	0.24	0.29	2.33	5.90	0.24	5.71	0.05	0.19	1.86	-	-	0.63	-	-	0.17	-	-	-
		第28週	54.82	0.06	0.24	0.29	0.52	2.19	5.43	0.62	6.29	-	0.05	1.90	0.05	-	1.00	-	-	0.83	-	-	-
		第29週	58.41	0.03	0.56	0.33	0.38	2.19	4.14	0.14	5.38	-	0.19	2.10	0.05	-	0.25	-	-	1.33	-	-	-
		第30週	45.12	0.09	0.94	0.57	0.43	1.29	2.95	0.29	3.19	-	0.33	1.00	-	-	0.25	-	-	1.00	-	0.17	-
		第31週	48.18	0.24	0.47	0.29	0.29	1.67	3.71	0.19	3.38	-	0.24	0.90	0.05	-	0.25	-	-	-	-	-	-
全国		第29週	52.05	0.20	2.13	0.48	0.35	1.75	4.01	0.30	9.38	0.06	0.29	2.31	0.06	-	0.55	0.01	0.04	0.40	0.01	0.02	0.02
		第30週	42.87	0.24	1.53	0.46	0.29	1.32	3.20	0.29	6.98	0.06	0.25	1.57	0.04	0.02	0.51	0.01	0.06	0.37	0.02	0.02	0.02

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス) 感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (ピクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第26週	15	11					1			1	3		3		3	2	3
第27週	15	11	1							4	2		2	1	3	1	1
第28週	12	11								2			2		7	1	2
第29週	13	11					1			2	2		1		7	1	1
第30週	16	14					2		2	2	3		1		3	1	2

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査: 広島市衛生研究所) 詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

【参考】新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生動向



昨年のピーク時は、全国で第34週(8月18日～24日)*1に定点当たり8.73人、広島市で第37週(9月8日～14日)*2に定点当たり9.06人の報告があり、6～7月頃から増加傾向となっていました。今年の夏は全国で6月頃から、広島市で7月頃から増加傾向となりました。最新週ではいずれも減少に転じましたが、引き続き注意が必要です。

手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。また、発熱等の体調不良時は不要不急の外出を控えましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp